

ムスタン紀行

仲 紀久郎

歸路にて (一一)

平成廿六年八月九日

山に慣れたる目にはポカラは都會なり。昨夜は宿の浴室にて温かきシャワー楽しむ。七日振りなり。朝食の卵料理各自の好みを問ふあり。其々煎り卵、西班牙風卵焼き、目玉焼き等注文す。野菜サラダ、ジャガ芋、甘藍炒め、辛き腸詰、各種麵包、ナン等有りて、食ひ過ぎ要注意なり。

食堂にウエストポーチ置き忘れたり。旅券、財布在中なれば、急ぎ食堂へ戻る。帳場にて保管ありけり。昨日は帽子、一昨日は日焼止め軟膏紛失す。何れも何處にて失ひたるや記憶無し。體調は良好なれど、頭は疲勞したるにや。日差強く無帽にては歩く能はず、御定の價格交渉の末、ネパールの目玉模様付き野球帽を得たり。

往路には雨天にて諦めたる小舟に乗りてフェワ湖上を晝食會場へと向ふ。余等懸命に櫓を漕ぐも、後發の船追ひ越し行く。見れば、ネパール人の少年櫓を扱ひをり。後を振向くに余等の船にも船頭乗りたり。「さては、自力にて漕ぐこと無かりしものを！」櫓を船頭に預け、湖上の涼風を楽しむ。

食堂は泰料理と云ふも、ピザ、伊太利亞麵等も有れば、各種注文し皆で分けたり。麥酒注文す。冷蔵庫にて良く冷したるジョッキと瓶麥酒登場す。冷えたるジョッキは日本以外にて遭遇せる記憶無し。日本人ヒマラヤ登山客の影響なりや。瓶麥酒、日本にて云ふ大瓶なり。印度文化圏には大瓶存すなり。

宿に戻り荷物を整理す。往路當地ポカラにて購入せる背囊一つに纏めたり。阪神タイガースの徽章張りたる旅行鞆は最早使用に堪へず。十餘年前當時使用せる旅行鞆の破損したる折、妻倫敦にて購入せし物にて、耐用年數既に超えたり。鍵の壞れたるも道理なりや。妻には無斷にて廢棄す。

(平成二十七年九月十四日受附)